

第57回埼玉大学脳科学セミナー

主催：埼玉大学脳末梢科学研究センター

「細胞死(アポトーシス)のイメージング～神経変性疾患との関連性に向けて～」

「Live cell imaging on apoptosis ～
some correlations between neurodegeneration and apoptosis? ～」

鈴木 美穂 先生

埼玉大学 理工学研究科 物質科学部門 准教授

日時：2015年 6月 18日（木） 16:20 ～

場所：総合研究棟 シアター教室

細胞の死には大きく分けて2種類ある。1つはプログラムされた細胞の死、自然死と言われるアポトーシス、もう一方は壊死と呼ばれるネクローシスである。アポトーシスは個体をより良い状態にするために不要になった細胞を取り除く機構でその信号伝達過程は複雑であるが、この不具合がガンを始めとする様々な疾病と関連していることから、研究が盛んに行われている。演者はこの機構解明においても、生細胞イメージングは優れたアプローチであると考え、アポトーシスの信号伝達過程に関係する細胞内動態モニターのためのバイオプローブを開発してきた。まず、演者が開発したバイオプローブの特性について概説し、それらを導入したガン細胞のアポトーシスイメージングやその解析手法について紹介する。最近の研究ではアポトーシス、ネクローシスに属さない細胞の死の報告も多い。筋委縮性側索硬化症、パーキンソン病、アルツハイマー病、ハンチントン病などの神経変性疾患でもアポトーシスによる神経細胞死やそれ以外の細胞の死の報告がある。これら先行研究の結果や演者のバイオプローブ導入とイメージングの可能性についても言及する。

脳末梢科学研究センターは定期的に脳科学セミナーを開催しています。誰でも自由に参加出来るセミナーですので、奮ってご参加下さい。詳しくはHPをご覧ください。 <http://subsi.saitama-u.ac.jp/>

問合せ：脳末梢科学研究センター 中井 淳一 内線5140